

スロバキア出張報告

日本学術振興会の平成15年度共同研究プロジェクト「スロバキアと日本における出生率低下・人口移動・高齢化の相互関連についての地理学的研究」（研究代表：岐阜大学小林浩二教授）における研究活動の一環として、平成15年9月28日～10月11日までスロバキアに出張した。スロバキア側の共同研究者たちと人口問題に関する討論を行ったほか、統計局、人口研究所、労働社会家族省等で資料の収集およびヒアリングを行った。また、首都周辺およびスロバキア東部でいくつかの町村を訪問し、周辺国への通勤移動や、ロマの社会統合の実状などにつき、行政担当者等から話をきくことができた。EU統合を来年に控え、社会制度の整備・調整が急速にすすんでいるとの印象を持った。

（清水昌人記）